

「いたばしNo.1 実現プラン2025」の策定

～ポストコロナ時代を見据えた重点戦略の展開～

区は、これまで「板橋区基本計画2025」（以下、「基本計画」）を推進する「いたばしNo.1 実現プラン2021」（以下、「No.1プラン2021」）に基づき、「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちの実現に向け、着実に歩みを進めてきました。しかし、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大や国の不合理な税制改正に伴う減収の恒常化など、区を取り巻く環境は大きく変化しており、区政はかつて経験したことのない危機に直面しています。

こうした厳しい状況を乗り越えていくため、「No.1プラン2021」を1年前倒しで改訂し、緊急財政対策を講じつつ、経営革新と人材育成・活用を加速させ、限られた経営資源を集中的に投入する重点戦略を定めた「いたばしNo.1 実現プラン2025」（以下、「No.1プラン2025」）を策定しました。

○「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて

「No.1プラン2021」 がもたらしたもの (2019年度～2020年度)

文化の継承と刷新を極めた区立美術館やSDGsを体現できる板橋こども動物園のリニューアル、自然とのふれあいや農と食への興味や理解を深化する「農業園」をオープンするなど、未来を創造し新たな価値を提供することで、板橋の魅力を高めました

「No.1プラン2025」 が掲げていくもの (2021年度～2025年度)

かつてなく厳しい財政状況を踏まえ、緊急財政対策や経営革新、人材育成・活用に取り組みながら、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、限られた経営資源を重点投入すべき戦略を展開し、行政サービスの質の向上をめざします。

○No.1プラン2025における計画の構成

「重点戦略」	限られた経営資源を重点的に投入する戦略展開によって、厳しい財政運営にあっても、行政サービスの質の向上を図ります。 ※重点戦略の概要については、次ページ参照
「実施計画」	基本計画に定める基本政策の施策を推進する主要事業のうち、計画的に進行管理していく事業について、各年度の事業量・経費・スケジュール等を明らかにします。(49事業)
「経営革新計画」	持続可能な区政経営を実現するために将来を見据えた柔軟な財務体質を実現するとともに、民間事業者等との協創体制を構築し、新たなサービスを創造していきます。(16事業)
「人材育成・活用計画」	予測困難な時代における人材の育成と活用、組織のあり方、職員のめざす姿を示し、人を育てる取組、人が育つ取組によって、組織全体の成長をめざします。
「公共施設等ベースプラン」	基本計画に定める「公共施設等の整備に関する基本方針」に沿って、公共施設の改築・改修等にかかる検討の時期の目安を明らかにする基礎的な計画です。

○No. 1 プラン 2025 の特徴

「重点戦略」

～ポストコロナ時代の

「新たな日常」を見据えて～

かつてなく厳しい財政状況を踏まえ、緊急財政対策によって財源を確保しつつ、経営革新と人材育成・活用を加速させながら、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、ポストコロナ時代における「新たな日常」を見据えた「SDGs戦略」「デジタルトランスフォーメーション（DX）戦略」「ブランド戦略」の3つを柱とする重点戦略を展開することによって、行政サービスの質の向上を図り、魅力創造発信都市と安心安全環境都市の実現と「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざします。

【重点戦略のイメージ図】

東京で一番住みたくなるまち

安心安全環境都市 魅力創造発信都市

【重点戦略のめざすビジョン】

SDGs戦略ビジョン

誰一人取り残さない
安心・安全なまち

DX戦略ビジョン

新しい技術や価値が
暮らしを豊かにするまち

ブランド戦略ビジョン

板橋の魅力が
定住と交流を促すまち

【重点戦略の基本的な考え方】

ポストコロナ・「新たな日常」を見据え、緊急財政対策の実施、経営革新及び人材育成・活用の加速によって、限られた経営資源を重点投入

【新型コロナウイルス対策】

- 医療提供体制強化
- 生活・産業・文化支援
- 子育て・教育活動支援
- ワクチン接種 など

ポストコロナ・
「新たな日常」
を見据えつつ

重点戦略・柱Ⅰ
SDGs戦略
<186億>

展開①若い世代の定住化

- (仮称)子ども家庭総合支援センターの開設
- D&I理解促進と女性の活躍推進 など

展開②健康長寿のまちづくり

- 板橋区版AIPの深化・推進
- シニア世代活動支援プロジェクト推進 など

展開③未来へつなぐまちづくり

- 気候危機・災害対策の推進
- 高島平地域のまちづくり推進 など

展開①デジタル・オンライン化

- オンライン手続きの増加
- GIGAスクール構想と施策連携 など

展開②業務改善・働き方改革

- テレワーク・Web会議の促進
- AI・RPA等新技術の導入 など

展開③データ活用・情報発信

- オープンデータの公開促進
- アプリ・SNS活用による発信 など

重点戦略・柱Ⅱ

DX戦略
<25億>

重点戦略・柱Ⅲ

ブランド戦略
<36億>

展開①絵本のまち

- 中央図書館移転改築後の絵本事業充実
- 絵本関連事業連携・総合発信 など

展開②文化・観光・産業

- 加賀エリアの魅力向上
- 渋沢栄一と板橋の発信 など

展開③駅周辺のまちづくり

- 大山・板橋・上板橋駅周辺まちづくり
- 東武東上線連続立体化 など

※< >内は令和3年度一般会計予算額で億未満切捨

【緊急財政対策】

国の不合理な税制改正及びコロナ禍による経済への影響を踏まえ、減収による財源不足への緊急財政対策を実施
○公共施設の新規工事着工を原則凍結・延伸
○予算要求シーリング実施
○補助負担金、指定管理事業、既存事務事業の見直し
○資産活用、民間活用、施設のあり方検討を推進 など

【経営革新】

「もてなしの心」「未来への責任」「高い使命感」による質の高い区民本位の区政経営を推進
○働き方改革、効率的・合理的な仕事の進め方の追求
○ICT・人材の有効活用をさらに推進
○リスクマネジメントの強化による事故防止
○既存事業のブラッシュアップ など

【人材育成・活用】